

北海道型地域構造の考え方について

国土交通省北海道局

令和4年9月12日

| | |
|---|---|
| 1. 北海道型地域構造について..... | 2 |
| 2. 「地域生活圏」を参考とした 北海道の地域構造に関する検証..... | 4 |
| 3. シミュレーション(全国、北海道、九州の比較)... | 5 |

- ①北海道の食料等を供給する生産空間※が「地方部」にあること
 - ②北海道の地方部の集落の「住まい方」は散居形態が主であり都府県と大きく異なること
 - ③北海道の地方部が、国土の1/5を占める面積に広域に散在していること
- という「強み」や「個性」に着目。



- 「生産空間の維持」に視点を置いた分析を行うため、「地方部の市町村」をさらに「①生産空間」と「②地方部の市街地」に分類。
- これに「③圏域中心都市」を加え「①生産空間→②地方部の市街地→③圏域中心都市」という流れで各階層及び階層間に求める機能を考え、地域構造を分析。
- 上記「①生産空間、②地方部の市街地、③圏域中心都市」の3層を、「北海道型地域構造」と定義。

※「生産空間」：ここでは、主として農業・漁業に係る生産の場（特に市街地ではない領域）を指す。生産空間は、生産のみならず、観光その他の多面的・公益的機能を提供している。

1-2. 北海道型地域構造について

北海道型地域構造における機能分担イメージ



北海道型地域構造は、

- ① 同一市町村内に「圏域中心都市」と「生産空間」、
「地方部の市街地」と「生産空間」が併存することもあり得る。
- ② 過去の北海道総合開発計画における6圏域、2次・3次医療圏、定住自立圏等、**他の圏域概念を排除・否定するものではない。**

2. 「地域生活圏」を参考とした北海道の地域構造に関する検証

- 「国土形成計画(全国計画)中間とりまとめ」の「地域生活圏」の考え方を参考に、北海道の地域構造に関して検証を実施。

【シミュレーション】

(取組の参考となる人口規模の一つの目安は10万人)

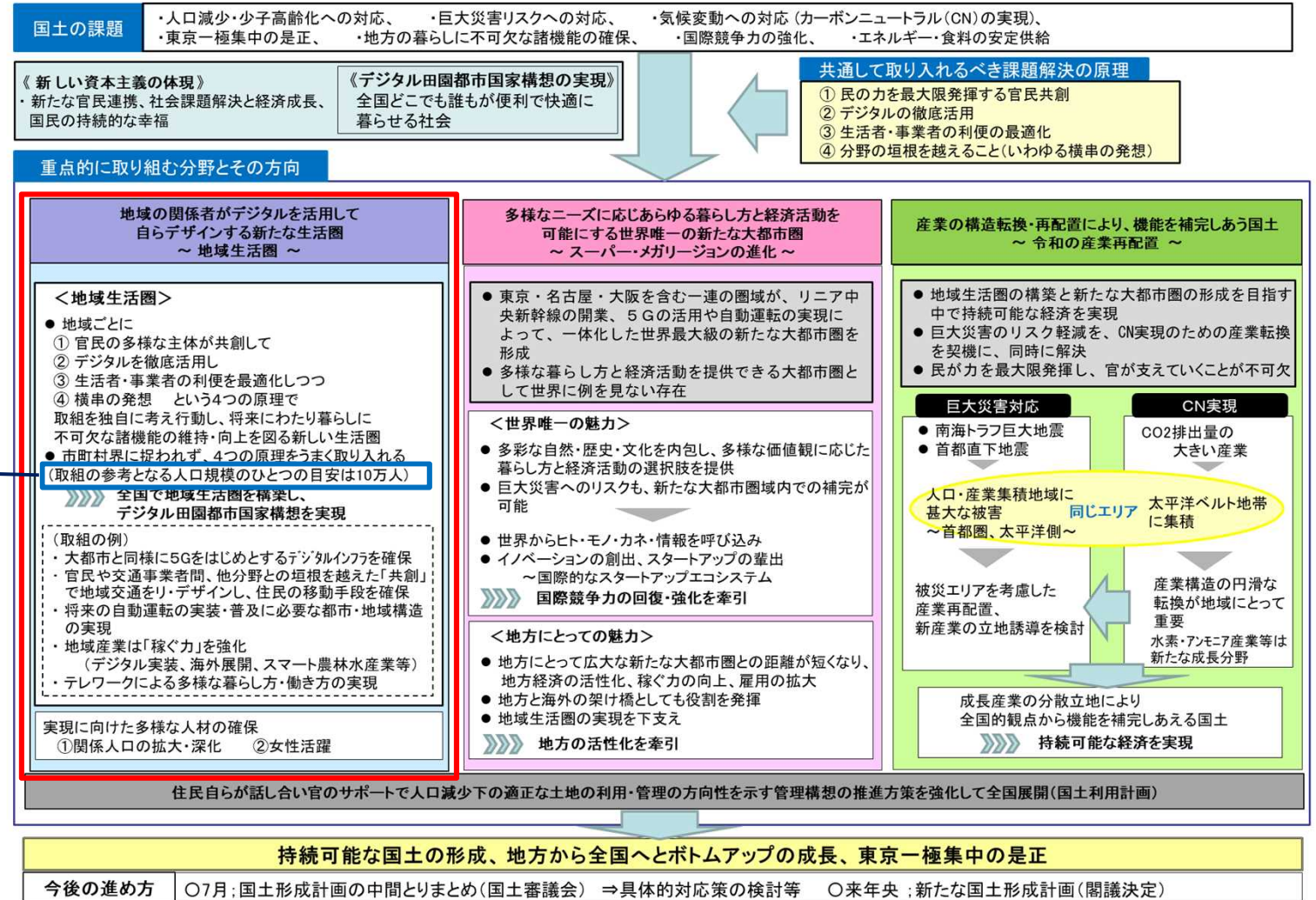


- i. 人口10万人以上の市の中心
- ii. 都市雇用圏の中心都市で人口5万人以上10万人未満の市の中心

上記を条件に時間距離で60分以内、90分以内の人口・面積カバー率を全国、北海道、九州で比較

国土形成計画(全国計画) 中間とりまとめ(概要)

令和4年7月



3-1. シミュレーション(全国)

仮に地域生活圏の圏域を以下のように設定して、試行的にシミュレートすると、人口、面積のカバー率は下表のとおり(1kmメッシュ単位で分析)

シミュレーション(試行)の条件

- i 人口10万人以上の市の中心
- ii 都市雇用圏の中心都市で人口5万人以上10万人未満の市の中心

案1: 市の中心から時間距離で60分以内
 案2: (同上) 90分以内
 ※案2は、行動範囲の広域化、フルセット整備の必要性の低下、デジタル技術の進展に配慮した試行

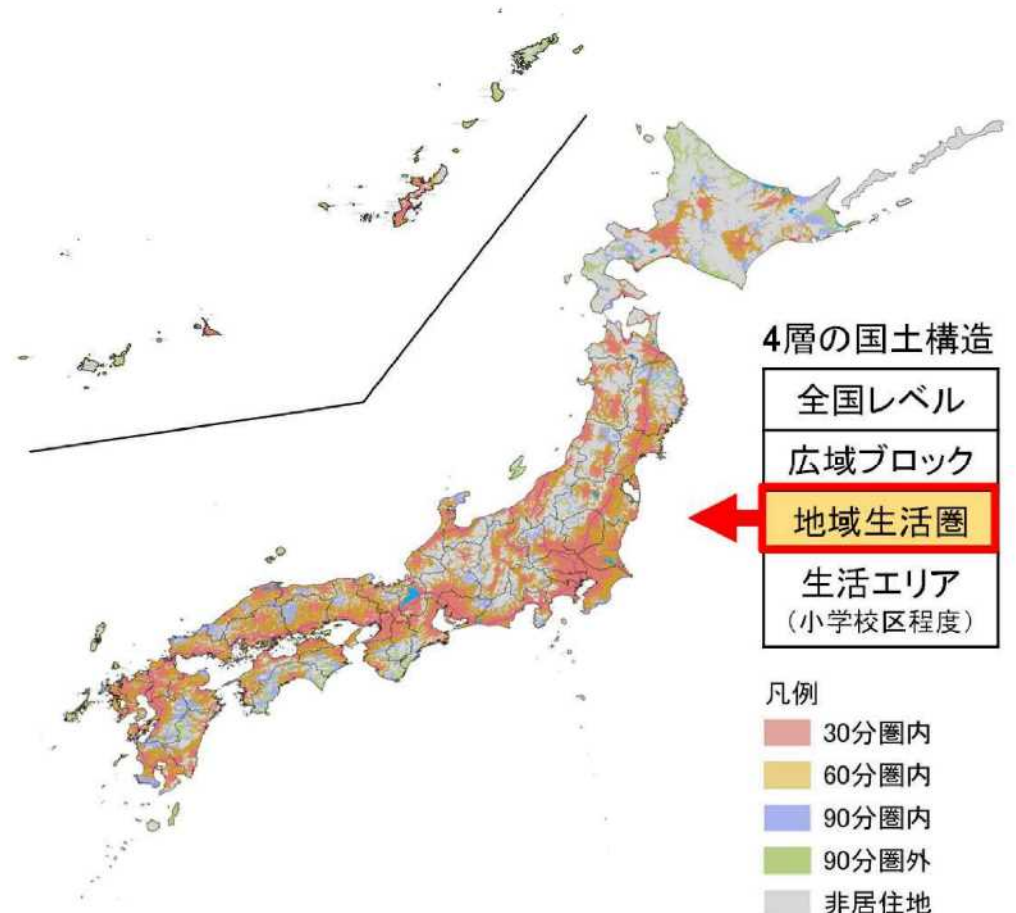
| | 人口 | | | | | 面積(居住地面積) | | | | |
|-----|-----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|
| | 合計 | 60分圏域(案1) | カバー率(案1) | 90分圏域(案2) | カバー率(案2) | 合計 | 60分圏域(案1) | カバー率(案1) | 90分圏域(案2) | カバー率(案2) |
| 全国 | 127,094千人 | 124,029千人 | 98% | 125,806千人 | 99% | 178,347 | 145,236 | 81% | 164,979 | 93% |
| 地方圏 | 44,255千人 | 41,962千人 | 95% | 43,281千人 | 98% | 115,949 | 88,932 | 77% | 104,311 | 90% |

※地方圏は、北海道、東北、北陸、中国、四国、九州、沖縄ブロックの合計

(注)市の人口は国勢調査(2015年)による。

- 「都市雇用圏の中心都市」は以下①、②のいずれかの条件で設定
- ①DID人口が1万人以上で、他都市の郊外(他都市への通勤率が10%超)でないこと、
 - ②他都市への通勤率が10%を超えるが、従業員常住人口比が1以上で、DID人口が中心都市の1/3以上であること

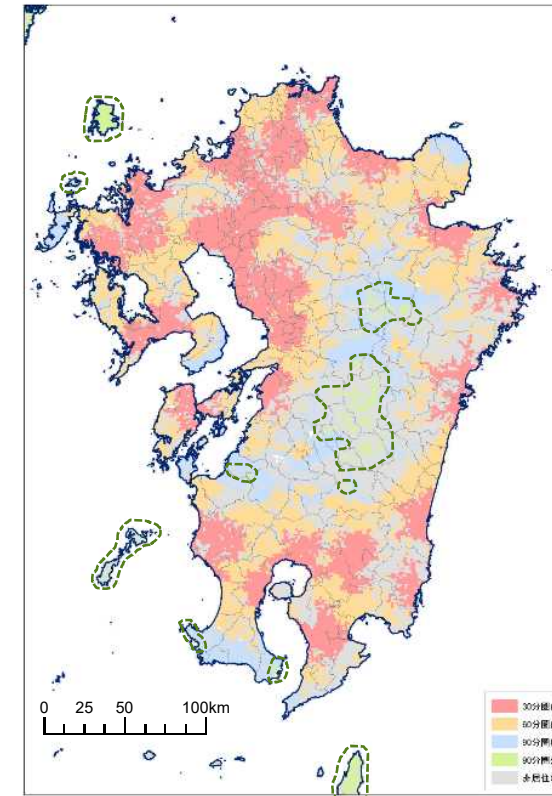
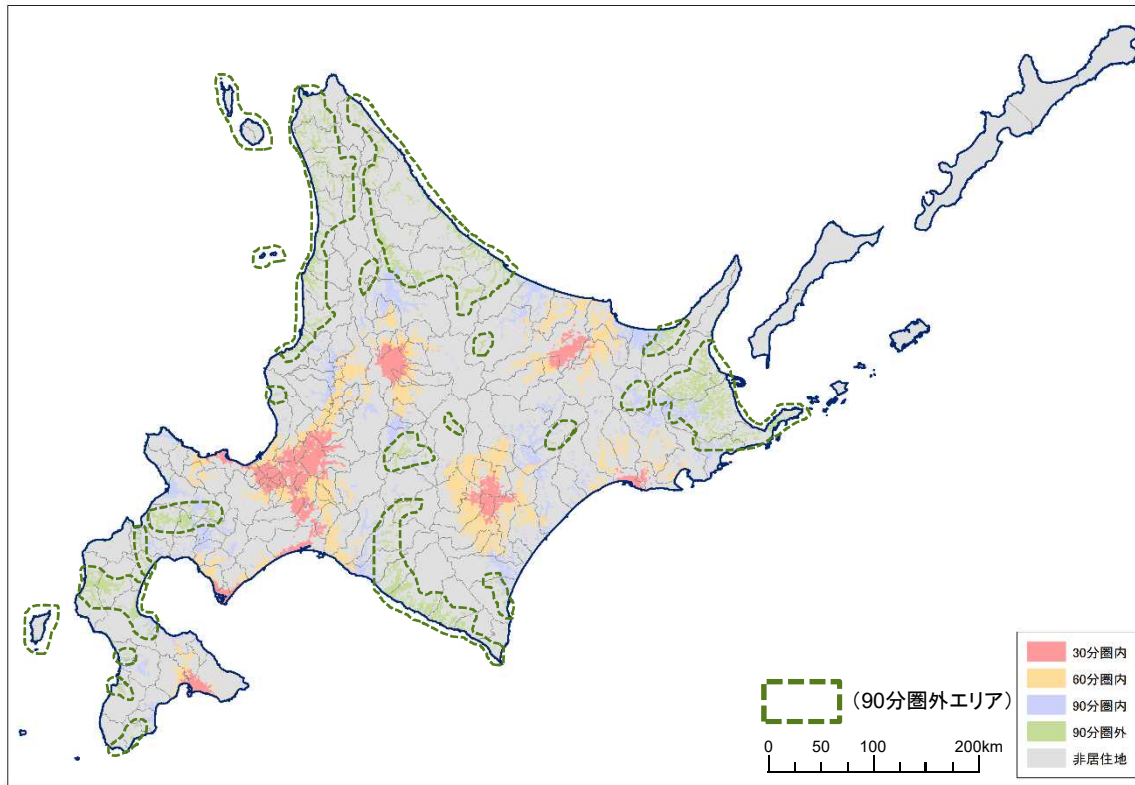
地域生活圏のイメージ
 <人口10万人以上+都市雇用圏人口5万人以上>



※起点となる市の中心(市役所)から道路(高速道路を含む)を利用して到達できる時間圏域を表示。
 ※白塗り箇所は平成27年国勢調査時点における避難指示区域である。
 ※本地図は我が国の領土を網羅的に記したものではない。
 (出典)総合交通分析システム(NITAS2.6)を用いて国土交通省国土政策局作成

3-2. シミュレーション(北海道と九州)

- 北海道と九州を比較すると、90分圏域の人口カバー率は北海道も九州も90%を超えるが、90分圏域の面積(居住地面積)カバー率は九州が80%を超えるのに対して北海道は60%未満(冬期は50%未満)となっており、十分にカバーできていない。
- なお、全国(前頁)は、90分圏域の人口及び面積(居住地面積)カバー率はいずれも90%を超えている。
- 以上のことから、北海道の地域構造は人口規模に加えて、時間距離の面で、全国とは大きく異なっており、広域分散型社会の特性を踏まえた検討が必要。



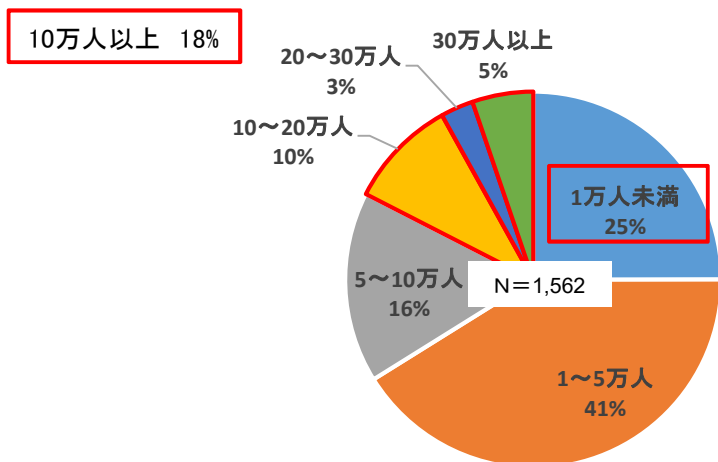
| | | 人口(人) | | | | 面積(居住地面積)(メッシュ数) | | | | | |
|-----|----|--------|-----------|------|-----------|------------------|--------|--------|------|--------|------|
| | | 合計(千人) | 60分圏域(千人) | カバー率 | 90分圏域(千人) | カバー率 | 合計 | 60分圏域 | カバー率 | 90分圏域 | カバー率 |
| 北海道 | 夏期 | 5,382 | 4,788 | 89% | 5,095 | 95% | 91,959 | 26,431 | 29% | 51,732 | 56% |
| | 冬期 | 5,382 | 4,684 | 87% | 4,984 | 93% | 91,959 | 22,010 | 24% | 45,362 | 49% |
| 九州 | — | 13,018 | 12,283 | 94% | 12,718 | 98% | 43,520 | 29,355 | 67% | 36,275 | 83% |

出典：総合交通分析システム(NITAS2.6)及びETC2.0プローブデータを用いて北海道局作成
注：北海道の面積(メッシュ数)には北方領土を含む。

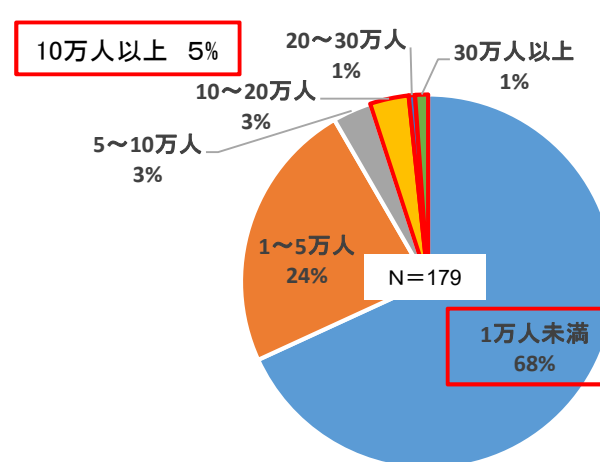
【参考】人口規模別市区町村数の概況(市区町村数、人口)

- 人口規模別市区町村数について全国と北海道を比較すると、10万人以上の市区町村割合は、全国が18%に対して北海道は5%、人口割合は、全国が70%に対して北海道は64%となっている。
- 一方、1万人未満の市区町村数割合は、全国が25%に対して北海道は68%、人口割合は、全国が1%なのに対して北海道は10%となっている。

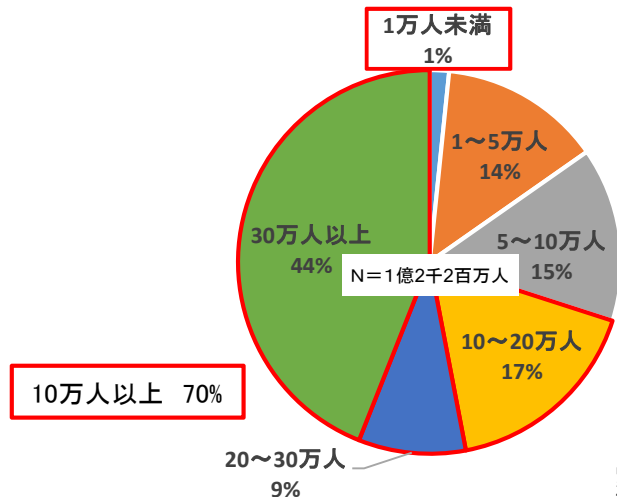
人口規模別市区町村数(全国 ※北海道除き)



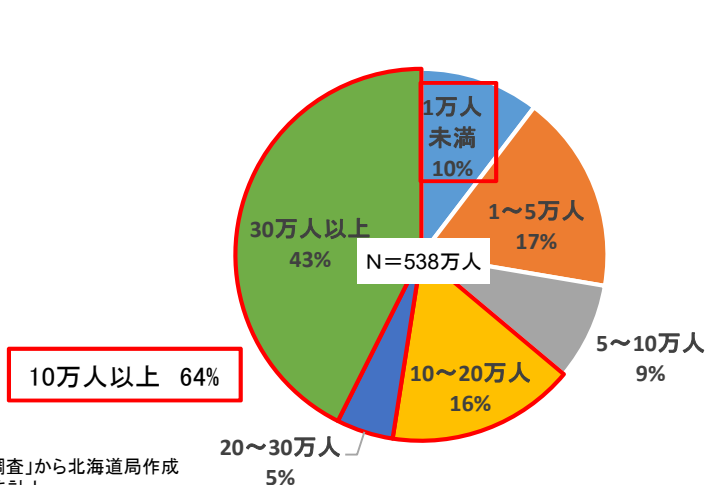
人口規模別市区町村数(北海道)



人口規模別市区町村人口(全国 ※北海道除き)



人口規模別市区町村人口(北海道)

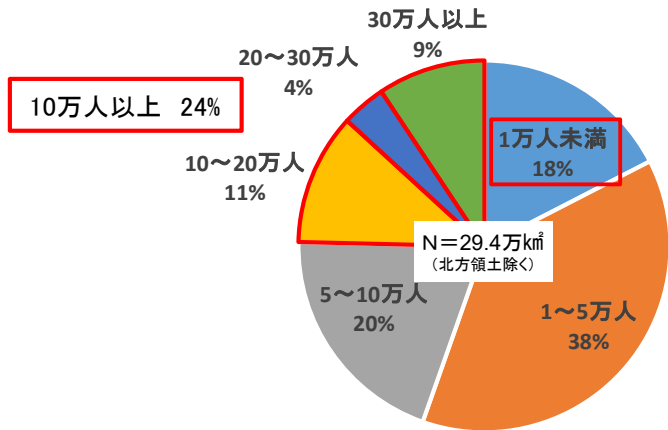


出典：総務省「平成27年国勢調査」から北海道局作成
注：区については東京都23区を計上

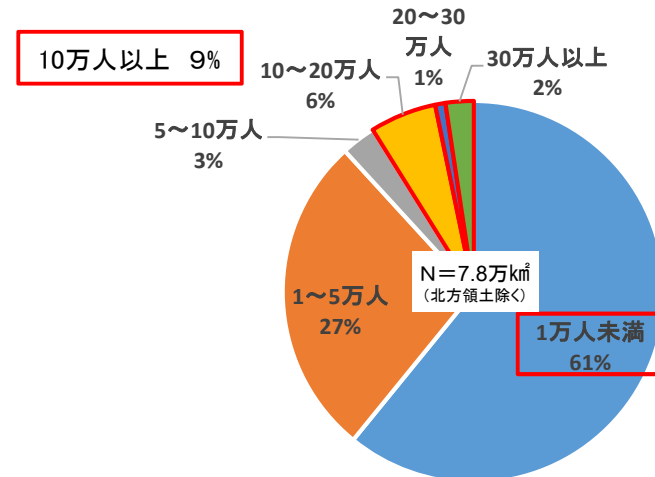
【参考】人口規模別市町村の概況(面積、人口密度)

- 人口規模別市区町村面積について全国と北海道を比較すると、10万人以上の割合は、全国が24%に対して北海道は9%、1万人未満の割合は、全国が18%に対して北海道は61%となっている。
- 人口密度は、30万人以上で北海道は全国の約3/5、20~30万人は約2/5、10~20万人は約1/3となっているほか、1万人未満は約3/10となっている(全体では約1/6)。

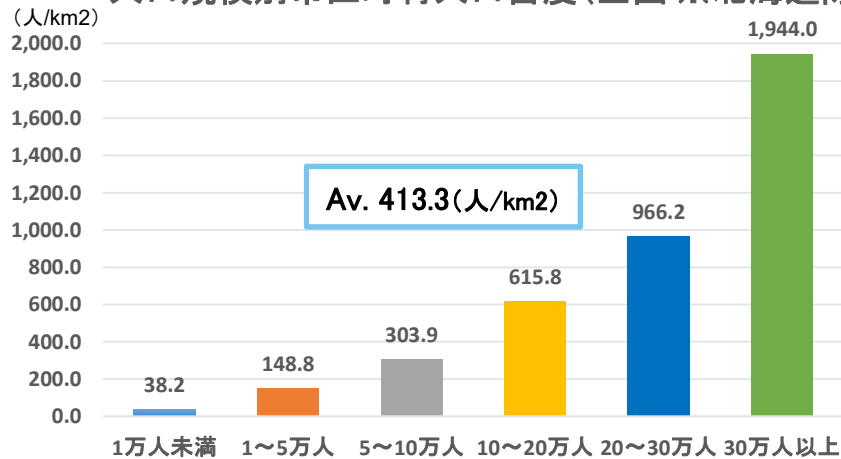
人口規模別市区町村面積(全国 ※北海道除き)



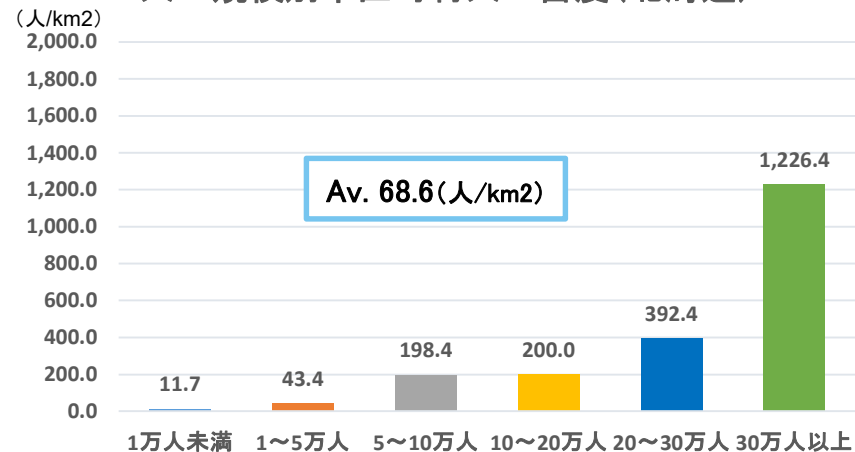
人口規模別市区町村面積(北海道)



人口規模別市区町村人口密度(全国 ※北海道除き)



人口規模別市区町村人口密度(北海道)



出典：総務省「平成27年国勢調査」から北海道局作成

注：区については東京都23区を計上。全国、北海道の人口密度は北方領土を含まない面積による。